

岐阜市立 と出会った 図書館

イベントのゲストとして訪れた“ひと”をご紹介します!

ひらた
平田 オリザさん 劇作家・演出家

大学在学中に立ち上げた劇団「青年団」の主宰のほか劇場の芸術監督、大学教授など、演劇を軸に多彩な活動をされています。

芸術文化観光専門大学の学長と教授を務め、演劇空間をつくるノウハウを医療や学術研究の場でコミュニケーションを育てる活動にも繋げています。

公演紹介

「日本文学盛衰史」 青年団
高橋源一郎 / 原作

原作は、芥川龍之介や石川啄木など日本の近現代文学の文豪として名を連ねる作家たちの苦悩や生き方を、現代文化と絡めたパロディやコメディを混ぜながら掘り下げていく小説です。好評上演中。2月初旬に兵庫県伊丹市で上演されます。

平田さんと図書館

中央図書館開館4周年記念トーク

「新たな知の広場を創り続けるために」(2019年)

芸術・文化の役割や可能性、図書館などの文化施設の在り方についてお話しいただきました。第2部では、吉成館長(当時)と対談しました。

図書館ホームページで当時のブログを読むことができます! →



休館日のお知らせ

● … 図書室休館日

● … 全館休館日

2023 2 FEBRUARY

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

編集後記：蔵書点検用の機器は意外と重く、腕が筋肉痛になるんです。私だけかもしれませんが。(悠)

岐阜市立図書館

中央図書館	9:00 - 20:00	058-262-2924
分館	9:00 - 21:00	058-268-1061
長良図書館	9:30 - 17:00	058-233-8170
東部図書館	9:30 - 17:00	058-241-2727
西部図書館	9:30 - 17:00	058-234-1633
長森図書館	9:30 - 17:00	058-240-2702
柳津図書館	9:30 - 17:00	058-388-2026

<https://www.g-mediacosmos.jp/lib/>

GIFU CITY LIBRARY NEWS LETTER

2

2023

みんなの図書館 気持ちよく使っていただくために

探している資料があるはずなのにみつからない、といった経験はありますか?利用者さんが必要な時にあるはずのものがここにない、という困りごとが起こらないよう、**すべての本があるべき場所にあるかを確認するために行うのが蔵書点検です。**

中央図書館は約55万点の資料を所蔵しています。蔵書点検ではすべての資料に貼ってあるバーコードを専用の機器で読み取り、データと照合して行方不明の本や間違った場所にある本を書架を回る宝探

しのような感覚で、広い館内をくまなく探します。探していた本を見つけたときは「やった!」と声が出てしまうほど。迷子の本が1冊でも少ない状態で終われるといいな、と祈っています。

本棚をきれいに整理したり、閉架書庫の本も含めて埃を取り除いたり、司書にとって蔵書点検は年に1回所蔵している本とじっくりと向き合う、大切な期間なのです。

岐阜市立図書館では、蔵書点検のため、2月6日(月)~10日(金)の間、中央図書館を休館します。休館中も返却ポストは利用できます。(視聴覚資料など一部利用できない資料もあります。)分館、図書室は開館していますので、お急ぎの方はそちらをご利用ください。ご理解・ご協力をお願いします。



岐阜市立図書館

読書推進トークイベント

日常の中にある豊かな暮らし

作家 **小川糸**さん

糸さんが紡ぐ物語の背景にある暮らしのこと、作品づくりのこと。凛と、でもやわらかなトーンと雰囲気語ってくださいました。

1/8(日)

みんなのホール

ぎふメディアコスモス
総合プロデューサー

吉成 信夫



小川糸さん

実は面識があるお2人!吉成Pが岩手でつくった「森と風のがっこう」を糸さんが訪れていました。

ドイツ ベルリンで暮らしたこと

山の暮らしを始める前は、ドイツのベルリンで3年ほど生活されていました。毎年夏だけ訪れる生活を10年ほど続け、ベルリンのことをもっと深く知りたいという思いからアパートを借り、暮らし始めたそうです。「住んでみたらとても**楽**な場所だった」と語る糸さん。暮らしの中に「**もったいない**」「**おかげさま**」の精神が息づいている。物をすぐに捨てず、譲り合ったり使いまわしたりしながら、どんなことも楽しんで工夫しているそうです。「遊びながら、「楽しいから」、「そのほうが気持ちがいいから」やっている感じがいいんですね」とのびやかに語られる姿が印象的でした。

作品、書くことへの思い

『ライオンのおやつ』 ポプラ社

瀬戸内の大三島(おおみしま)という島がモデル。穏やかだけれど流れが激しい瀬戸内の海の様子が、死と近い場所にいる人の穏やかではないだろう心情や感情と通じる部分があるような気がして作品の舞台に選びました。「おやつ」は食事と違って、どんなときも笑い声や優しさと一緒にあるもの。おやつがあることで、自分の人生にこんな幸せな場面があったと最後に自分の人生を肯定できるような気がするのです、と糸さん。どんなに死が近くにあっても、生きている限りやり直せるし終わっていない。そんな暗い、痛くはない「死」を描きたかったそうです。

書くことの原点は日記

子どもの頃から日記に創作の物語を書いていました。本に携わる仕事につきたいと思いつつも10年ほど真っ暗なトンネルの中のような状況が続き、これがダメならあきらめようという思いで書いた作品がデビュー作の『食堂かたつむり』。うれしい、楽しいだけでは成り立たない、ままたまらない感情や状況の中にも喜びを見つけていけたら、と思って作品を書いているそうです。

標高1600mの山の中で暮らす

水と空気がきれいな場所に身を置きたいという思いから、昨年長野県に山小屋を立て、新しい暮らしを始められました。標高1600メートルは人が暮らせるギリギリの高さなのだそうです。今は、いろいろなことを石橋を叩きながらやってみているおためし期間。人生初めての薪ストーブを使つての暮らし、夜に道路で寝転んで星を見る幸せなど。山での暮らしをはずむように語る糸さんの様子は「ウキウキ」「ルンルン」という言葉がぴったり!新しいことを知ったり、できることが増えてちょっとずつ成長していく自分がうれしい、と暮らしのなかの一つ一つを楽しんでみえるようでした。

質問コーナー

質問にもたくさん答えてくださいました。一部をご紹介します。子どもたちへの言葉が印象的!

Q. 糸さんが今まで読んだ本で、これは読んだほうがいいと私たちにすすめる本は?
(小学生の女の子から)

A. 「これ」という1冊は、一生をかけて出会えれば十分だと思うので、そんな出会いをするために読書を続けていくのかなと思います。

Q. 子どもたち、未来を創っていく人へ伝えたいことは?(Zoom観覧者から)

A. 自由というのは当たり前にあるものではなく、意識をして守っていかないといけないもの。自分の自由を守るために具体的に行動を。

中央 イベント

最新の申し込み状況は
中央図書館まで！がん・トーク会
「がんはどうして起こるの？」

日時：2023年2月4日(土) 午後5時～午後6時
場所：岐阜市立中央図書館 シビックプライドライブラリー
定員：10人(先着順)
対象：どなたでも(がん経験者・ご家族・親戚・友人など 大人も子どもも歓迎！)
内容：ミニレクチャー(がんはどうして起こるの?)、テーマについての交流会
講師：進藤丈医師(大垣市民病院 副院長)
申込：中央図書館窓口・電話・Eメールにてお申し込みください。
Eメールでお申し込みの際は、件名にイベント名・本文に申込者の氏名と電話番号を明記してください。
注意：医療的なご相談をお受けする場ではございません。

並木道読書会 vol.37

- 『たゆたえども沈まず』 原田 マハ / 著 幻冬社 ◀ 受付終了しました
 - 『信長鉄道シリーズ』 豊田 巧 / 著 角川春樹事務所
- どちらかのテーマを選んでお申し込みください(チラシの裏に申込書があります)

日時：2023年2月5日(日) 午後4時～5時
場所：ぎふメディアコスモス 1階 おどるスタジオ
定員：14名(申込状況によっては、当日も受け付けます)
申込：中央図書館窓口・電話・メールにてお申し込みください
Eメールでお申し込みの際は、氏名・テーマ作品・連絡先(電話番号またはEメール)を明記してください。

みんなの図書館 おとなの夜学 第45夜

世界都市 金沢に学び語る「岐阜らしさとは何か」
山出 保元金沢市長と追求した金沢らしさの根源とは

日時：2023年2月13日(月) 午後6時30分～8時30分
場所：岐阜市立中央図書館 シビックプライドライブラリー
参加：中学生以上 ※お子さま連れはご遠慮ください
申込：会場観覧 先着35名
Zoom視聴500名 / おとなの夜学 web サイト オンライン配信予約欄にて
参加費：無料

おとなの夜学 webサイト：<https://otonanoyagaku.net/>

新型コロナウイルス感染症対策のため入場時の検温、アルコール消毒、イベント中のマスクの着用にご協力をお願いいたします。体調がすぐれない方、対策にご協力いただけない方のご入場をお断りすることがあります。また、状況により開催を中止する場合があります。

岐阜市立中央図書館 岐阜市司町 40-5
TEL：058-262-2924(もうしこみ @ ぎふ-リブ. ジェイピー)
Eメール：moushikomi@gifu-lib.jp

ビジネスチャレンジ 相談例

見やすい名刺を作る！

Q.

アプリを使って名刺を作りました。この1枚で何をやっているお店か理解してもらえる名刺にしたいのですが…

コーディネーター

名刺は営業ツールの1つですから大事です。ただ、情報が多すぎて読み難く窮屈な名刺になっていますね。もう少し余白を取りましょう。

司書

作りたい名刺をイメージしやすいように多くの事例作品が掲載された本や、余白を活かしたデザインレイアウトを紹介した本を提供しました。

おすすめ 本

現代短歌の世界

桜前線開架宣言

山田 航 / 編 左右社 (911.16 / サ)

色んな短歌を集めたアンソロジー。歌人によって雰囲気まったく違い、短歌で表せる世界の奥深さを知ることができます。現代短歌の入門書としてもおすすめです。

装丁も素敵な一冊。
続編『はつなつみずうみ分光器』もあります

【新着図書】

オールアラウンドユー

木下 龍也 / 著 ナナロク社 (911.16 / キ)

現代短歌で知られる著者の第3歌集。31文字で表される世界に次々とページをめくりたくなります。読み終わると、少し遠くに運ばれた気持ちになるかも。感性がきらりと光る一冊です。

同じ歌人による、『あなたのための短歌集』
もおすすめです

ようこそ、電子図書館へ！

人騒がせな名画たち

木村 泰司 / 著 マガジンハウス

誰もが知っている名画に隠された真実とは…？
美術館では味わえないエピソードがぎゅっと詰まった一冊。
当時の社会情勢や、画家の生い立ちについて詳しくなれます。
名画を新たな視点で楽しめそうです。

絵画を読む方法を初めて知りました！

岐阜市
電子図書館人騒がせな
名画たち

木村 泰司

☆☆☆☆☆

借りる

サンプルを読む

予約 BEST 5

紙の書籍

- 1 ハヤブサ消防団
池井戸 潤 / 著 集英社 F イケ
- 2 マスカレード・ゲーム
東野 圭吾 / 著 集英社 F ヒガ
- 3 おいしいごはんが食べられますように
高瀬 準子 / 著 講談社 F タカ
- 4 黒牢城
米澤 穂信 / 著 KADOKAWA F ヨネ
- 5 人は話し方が9割
永松 茂久 / 著 すばる舎 361.4 ナ

電子書籍

- 1 続 多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。孤独も悪くない編
Jam / 著 名越康文 / 監修 サンクチュアリ出版
- 2 多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。
Jam / 著 名越康文 / 監修 サンクチュアリ出版
- 3 図解版「あとでやろう」と考えて「いつまでも」しない人へ
和田 秀樹 / 著 ゴマブックス
- 3 性格4タイプ別 習慣術
古川 武士 / 著 ディスカヴァー・トゥエンティワン
- 5 それ、「心理学」で説明できます！
清田 予紀 / 著 三笠書房

分館 NEWS

ハートフルフェスタ
2023 開催！

分館がある複合施設「ハートフルスクエアG」の開館記念イベント「ハートフルフェスタ2023」が令和5年1月16日～29日に開催されました。

分館では、「カ・ラ・フ・ル」と題したSDGsに関する資料の展示を行い、館内を色とりどりの風船でデコレーションしました。期間中は多くの方々が来館され、興味のあるSDGsマークのシールを貼ったり、クイズに挑戦したりと、華やかな雰囲気を楽しみながらSDGsへの理解を深める姿が見られました。

